

やちだもの翼果



昨シーズン、樹々の稔りが豊かで、雪も多かった。真冬になって、スキーで河畔林内を行くと、ヤナギ類やケヤマハンノキなどの細い小枝の樹木にまじって、太い小枝のオニグルミ、キハダ、ヤチダモなどが点在していた。そして、ヤチダモはまだ鈴なりに果実を着けていた。この翼果は2月に採取しても十分に発芽するから、秋から早春まで播種、つまり翼果散布の期間を長く保っているらしい。ときに、翼は矢羽のように3枚の場合もある。果実をつける木とつけない木が明らかなので、ヤチダモは雌雄異株とみなせるようだ。今シーズン、ヤチダモに果実が見られない、スキーツアーがちよっぴり淋しい。

(道北分場 斎藤新一郎)